

2005年5月10日

財務大臣 谷垣禎一 殿
大阪市長 関 淳一 殿

特定非営利活動法人
旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会
理事長 小 田 康 徳
大阪府寝屋川市初町18番8号
大阪電気通信大学 小田研究室

旧真田山陸軍墓地納骨堂保全のための申し入れ書

本法人は、昨年9月8日、大阪府から特定非営利活動法人としての認証を受け、同月16日付で登記を済ませました。その目的は、「日本最古の陸軍墓地である旧真田山陸軍墓地について、(中略)この墓地の保存のあり方を考え、そのために必要な活動を実践していくこと」にあります。この立場から、近く起こることが予想されている南海地震・東南海地震には特に心配しています。そこで、この地震に備えて下記の件について至急検討し、対応策を樹立し、本法人に回答されるよう要請します。

記

旧真田山陸軍墓地の納骨堂は、1943(昭和18)年8月25日、大阪府仏教会が陸軍第四師団に「仮忠霊堂」として献納したものです。当時は、戦争遂行を優先するため、建築資材も極度に制限されていました。そのため築後60年を経た納骨堂は老朽化が目立っています。屋根瓦の直下の野地板には腐朽があり、瓦がずればはじめ、雨水の漏れが始っています。そのため、現在既に屋根の中央部は波打っています。このまま放置すれば、柱梁など骨格部分が腐り、倒壊する危険性も指摘されています。また、地震に際しては、納骨堂の屋根の崩落も危惧されています。さらに、壁のクラックには漆喰の塗り替えが必要です。そのため、至急に納骨堂の屋根の雨漏りについて調査し、補修のための措置をとられることを要請します。併せて建物全体への補強・補修を要請します。なお、この実現のためには、本法人は協力する用意があることを申し添えます。

以上

